

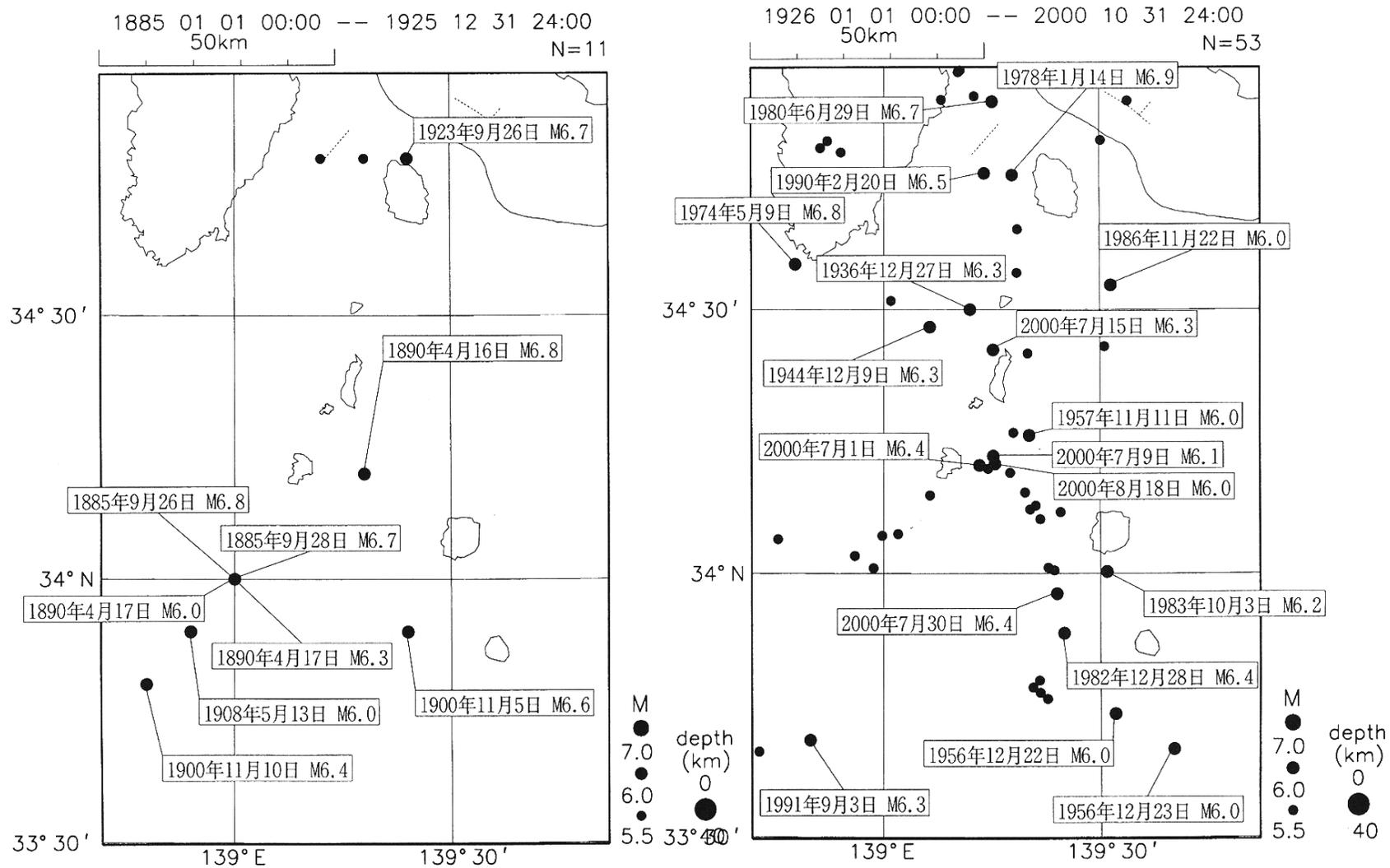
4 - 9 1885年からの三宅島及び新島・神津島近海のM6以上の地震と震度分布 M6 earthquakes and their seismic intensity distribution in the region around Miyakejima, Niijima and Kozushima since 1885.

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

三宅島周辺の海域及び新島・神津島周辺の海域では、M6クラスの地震が幾度も観測されている（第1図）。ただし、2000年6月26日からの活動では、わずか1ヶ月間にM6クラスの地震が4つも発生した。今回の地震活動では、多数の計測震度計が展開されているため、稠密な震度分布が得られている（第2図）。過去の活動と比較するために、明治時代の震度分布だけから震央、Mが決められている地震と比較を行ってみた。

三宅島、新島・神津島近海のこの海域では明治時代にM6クラスとされる地震が8つ発生しており、その内6つについて当時の震度観測の報告から震度分布図を再現してみた（第3図）。1908年の地震以外は、当時の微、弱、強、烈の震度階で表示した。弱、強の定義は今日とは微妙に異なる点があるが、有感範囲は地震の規模を比較する上で参考になると考えられる。なお、1900年11月の地震は資料が不完全であるが、地震報告に震度分布図が掲載されている。微震の内感有り（震度1）、と感なし（震度0）の区別が明らかでない場合もあり、評価は難しいが、最近のM6クラスの地震の震度分布と比較する限り、明治時代の地震において、Mが6.5を超える地震については規模が過大評価されていると思われ、M6.5以下である可能性が高い。

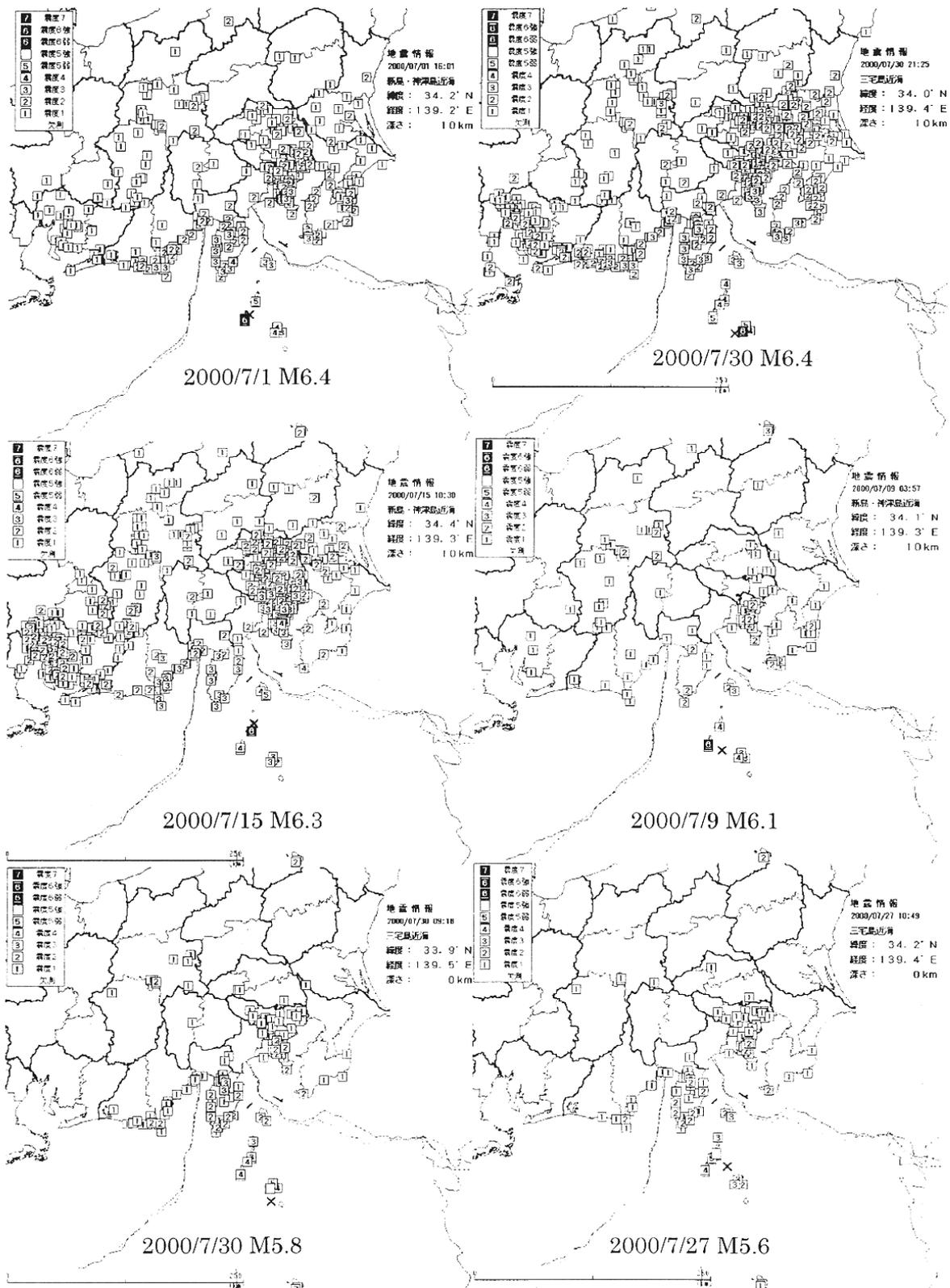


第1図 M5.5以上の地震の震央分布図(1885-1925, 1926-2000)

Fig.1 Epicentral distributions of earthquakes equal or larger than M5.5 (1885-1925, 1926-2000).

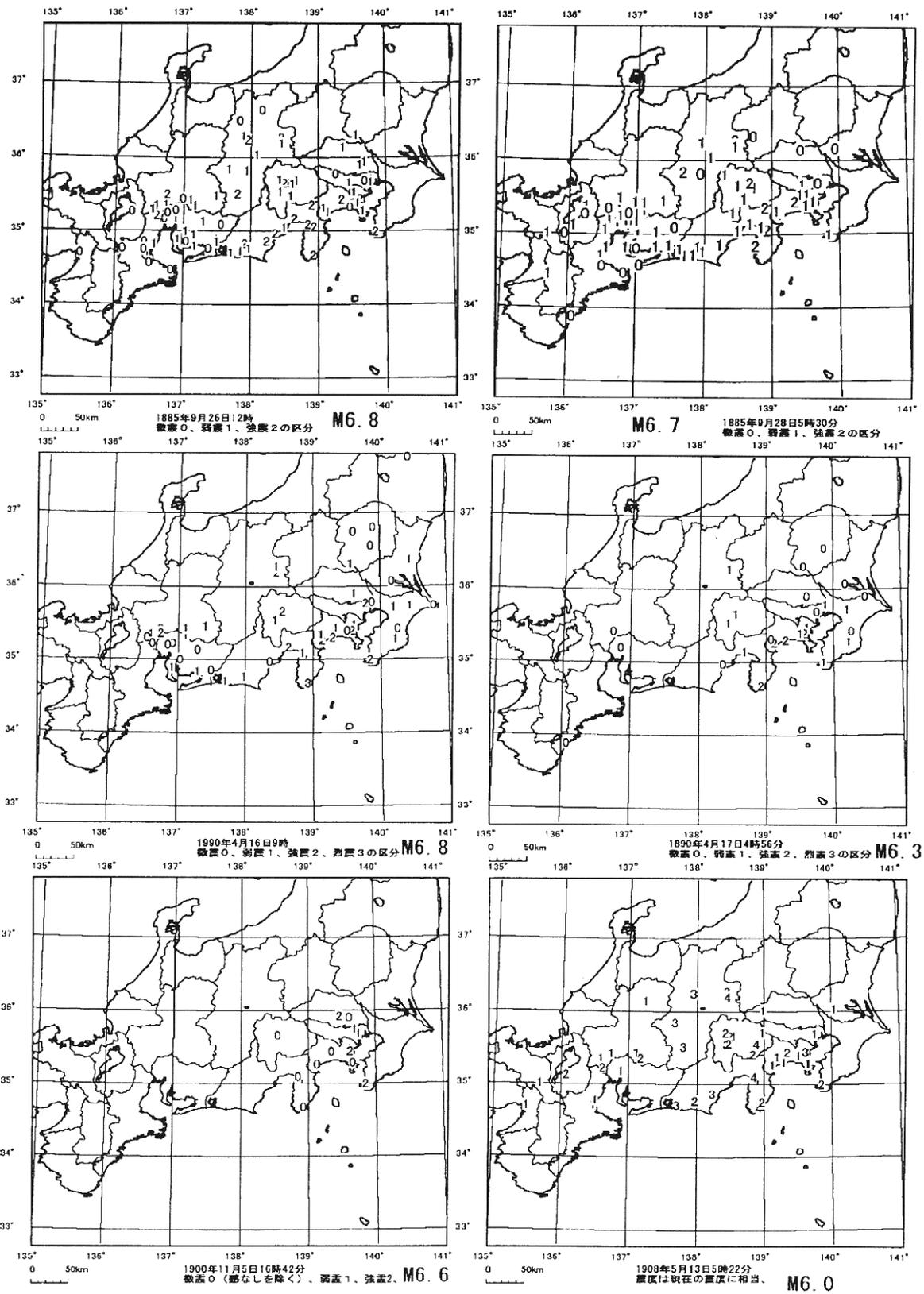
主な地震の震度分布と過去の地震の震度分布

平成 12 年 8 月 8 日



第 2 図 2000 年三宅島近海及び新島・神津島金内の活動の主な地震の震度分布。

Fig.2 Seismic intensity maps of prominent earthquakes in and around Miyakejima, Nijima and Kozushima in 2000.



第3図 明治時代の三宅島、新島・神津島周辺の主な地震の震度分布。

Fig.3 Seismic intensity maps of prominent earthquakes in and around Miyakejima, Nijijima and Kozushima in the Meiji era.